

2011年9月17日

## 門仲天井ホール閉館のお知らせ

門仲天井ホール関係者 各位

全日本建設交運一般労働組合（略称：建交労）

東京都本部

執行委員長 松田 隆浩

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-20-3 東京建設自労会館7階

TEL: 03-3820-8644 FAX: 03-3820-8646



3月11日の東日本大震災と福島第一原子力発電所の重大事故、各地のゲリラ豪雨そして台風12号の土砂災害と、さながら災害列島といったありさまですが、みなさまはご無事にお過ごしでしょうか。家族や友人知人が被害にあわれたという方もいらっしゃると思います。

建交労東京都本部は、亡くなられた方にはお悔やみを、被災された方には心よりのお見舞いを申し上げます。

さて、建交労東京都本部は、9月4日第13回定期大会を開催し、一年間の運動方針を確定いたしました。門仲天井ホールの活用問題についても一定の結論を得ましたので、お知らせいたします。

かつて、建交労の前身である建設一般全日自労東京都本部（当時）は、自らの事務所ビル（東京建設自労会館）の建設にあたって、その8階に文化運動のためのスペースを設けることを企画しました。多くの組合員・賛同者の方々のご協力もいただいて「門仲天井ホール」をスタートさせました。1989年以来20年以上にわたり「労働組合が運営する小ホール」として組合員・利用者とともに育み、組合内外の様々な分野に一定の貢献をすることができたことは、私たちの誇りとするところです。

しかし、いわゆる小ホールを取り巻く社会環境はこの間大きく変化してきました。ホールの今後をどうするのか、東京都本部は検討を進め、いくつかの問題点を明らかにしてきました。

第一に、ホールは興行場の許可を受けることができないということです。

興行場法は、興行を行う施設に、構造基準・衛生基準を定めています。避難のための直通階段（幅140センチ以上）2本の設置が義務付けられていますが、ホールには設置されていません。おおむね月5回以上興行類似の催しを行う場

合は興行場としての許可が必要ですが、受けることができません。

万が一、現在火災等の災害が発生し死傷者が出たとすると、「必要な設備を設けず、許可も受けずに違法に営業し被害を出した」として、労働組合は、社会的・法的に厳しい制裁を受けることになり、到底受け入れられません。

第二に、東京都本部財政の現在の状況ではホールを支えられないということです。

ホールの運営は、東京都本部財政に「会館会計」を設けて行なってきました。「会館会計」は、ホールを含めた東京建設自労会館全体の費用を賄うための会計で、賃貸事業収入・受け入れ管理費・屋上広告塔収入・ホール営業収入などで構成されています。3年前に屋上広告塔が解約・撤去されその収入がなくなると、資金繰りが著しく悪化してしまいました。

もとより「小ホール」は採算が取れるなどということは見込めず、運動として取り組んできましたが、そのやりくりもできなくなりました。

東京都本部財政全般も全体的な労働運動の低迷の中、逼迫した状態になっています。

これらの事情のため東京都本部執行委員会は、「門仲天井ホール」の継続は、事実上不可能と判断し、第13回定期大会にホール閉館の提案し、採択されました。

すなわち、2012年4月以降は、興行的な催しへの貸し出しは、おおむね月4回に制限し、今大会後一年以上の猶予期間を設けて、2012年9月末で閉館することになりました。

ここに広くホール関係者の皆様に閉館の告知をさせていただきます。

尚 労働組合の財産である門仲天井ホール（東京建設自労会館8階）の閉館後の資産利用形態は、来年2月の大会に次ぐ決議機関にあたる第13回東京都本部委員会で決定する予定です。

利用者の皆様にはたいへんご迷惑をおかけします。

これまでのご愛顧に深く感謝いたします。

以上